

災害時対応マニュアル

災害が発生したら
あわてず、冷静に
行動しましょう



聖徳大学
聖徳大学短期大学部

いざという時のために
常時携帯してください
2014年4月発行

学内で地震が起きたら

まずは安全の確保

屋外へ飛び出さず、揺れが落ち着くまで
まず身の安全を確保しましょう。

■あわてず、教職員・非常放送の指示に
従う。

■机やテーブルの
下にもぐり、落下物
から身を守る。



■実験・実習中の場合は、火気・化学製
品・ガス・油などに対し安全策を講じる。

■エレベーターは使用禁止。

“ ■屋外の場合は
ガラス等の落下物
があるので校舎か
ら離れる。



揺れが収まったら

冷静に状況判断

安全を確認しながら避難場所に集合し
てください。引き続き余震への警戒や二
次災害の防止など、災害を最小限に食い
止めるために、教職員の指示に従って冷
静な対応をしましょう。

人が倒れていたら

負傷者がいたら助け合って応急処置等
を行います。

また、障害者のサポートも忘れずに。

火災が起きたら

早く知らせる

火災報知器のボタンを押す。また大声を
出して周囲に火災を知らせる。

早く消火する

可能であれば周囲の人と協力して、危険
のない範囲で水または消火器等で初期
消火に努める。

早く逃げる

消火が困難な場合は無理をせずに火か
ら離れること。有毒ガス・煙が発生する
場合があるので、ハンカチ等で口・鼻を
覆い、姿勢を低くして避難する。

消火器の利用方法

①安全ピンを
引き抜く



②ホースを外して
火元に向ける



③レバーを強く握って
放射する



すぐに火が消えなければ、
躊躇することなく避難する。

災害用伝言ダイヤル

NTT東日本が大災害発生時に提供する
サービスです。毎月1日と15日に体験利
用ができます。

操作方法

伝言の録音

伝言の確認

17171ガイダンスが流れます

1

2

相手の電話番号

相手の電話番号

メッセージの録音

メッセージの再生

携帯各社の災害用伝言板

利用には事前の登録が必要です。
詳しくは各社のホームページなどで確
認してください。

NTT
docomo



au
KDDI



SoftBank
モバイル



WILL
COM



イー・
モバイル



NTT
web171



Google Person Finder

Google社が提供する安否確認のWebサイト
です。
<http://www.google.org/personfinder/japan>

松戸市

緊急・防災情報



松戸市では、災害情報や犯罪情報
などの緊急性の高い重要情報を
メールで配信しています。利用する
には登録が必要です。登録の手順
は、下のQRコードから登録画面に
遷移して確認してください。



重要 災害時対応マニュアルの携帯について

「災害時対応マニュアル」を全学生に配布することとなりました。

上記“安否確認シート（両面）”に必要事項を記入した上で、スクリーニングや科目終了試験など、聖徳大学に来校の際には、学生証もしくは受講証とともに必ず携帯してください。

※公道に出て門から学内に入り、階段をのぼってパチパチ広場、に避難する

キャンパス内避難場所

※1号館1階外

3号館1階外

3号館

1号館

2号館

6号館

7号館

8号館(クリスタルホール)

5号館(体育館)

テニスコート

クラブ・同好会部室棟

グラウンド

聖徳大学
川並香原記念講堂

掲示版

パチパチ広場

正門

守衛室

ちば興銀
「mini BANK」

経世塚

避難経路

避難場所

落下物に注意して公園や広場に避難しましょう。自販機やブロック塀など倒れやすいものからは離れましょう。

あわてて飛び出さずに、車内放送や構内放送、係員の誘導に従って行動しましょう。

階数表示のボタンを全部
押して開いた階で降りま
す。ドアが開かないとき
は、非常ボタンを押して外部
と連絡をとってください。

非常灯を確認してあわてず行動しましょう。
火災が起きている場合は、構内放送をよく聞いて避難しましょう。



災害時には多くの人が一斉に帰宅するため、各所で混雑が発生します。災害時の歩行速度は1時間に約2.5km程度です。10kmは4時間を要することになります。

また、日没後の行動は危険です。一人での行動は避けるようにしましょう。

自宅まで10km以内であれば、帰宅することは可能ですが、自分の体力と相談しましょう。10km以上の場合には、無理をせず、避難場所に残ることを考えましょう。

名称①	()
名称②	()

血液型:	RH + -
持病:	
服用薬:	
アレルギー:	
かかりつけ医	
病院名	
医師名	
住	
電話番号	

いつ起こるかわからない災害に備えて、いざという時の避難場所や連絡方法について確認しておくことが大切です。

災害が起きてから必要な物を揃えるのは難しいものです。緊急時に備えて、日頃から必要な物を用意しておきましょう。

- ☐ 懐中電灯
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 飲料水と食料(3日分程度)
- ☐ 簡易ガスコンロ
- ☐ 固形燃料
- ☐ ポリ容器
- ☐ 防寒具(冬場)
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ マッチ・ライター
- ☐ ろうそくなど